

# 第192期 中間報告書

2017年1月1日～2017年6月30日



世界の彩りのある街並み・イタリア ブラーノ島  
カラフルな街並みが続くイタリア・ブラーノ島。濃い霧に包まれても漁師が自分の家を見分けられるように、多彩な色で塗装されるようになったといわれています。



## STYLEで、初めてでもカンタンに、楽しくできるペイントリノベーション

### STYLE「ペンキセット」



ペンキ 2kg・4kg    バケツ用ネット    バケツ用内容器

### STYLE「ペイントツールキット」



マスキングテープ(2巻)    ハケ    ローラーハンドル    マスカー    ポリ手袋(2枚)

### 箱を開ける



### 容器類をセット



### ペンキを注ぐ



1,000円以上のお買い上げで送料無料

塗料総合通販サイト    ニッペホームオンライン    オンラインショップで  
**NIPPE HOME ONLINE**    お買い求めいただけます!



新商品や  
HOW TO  
配信中!



「ニッペホームオンライン」「ニッペホームオンライン」「ニッペホームプロダクツ」

<http://www.nippehome-online.jp>    ニッペホームオンライン    検索

ニッペホームオンラインは日本ペイントホールディングスグループで家庭用塗料を手がけるニッペホームプロダクツ株式会社が提供している通販サイトです。



代表取締役社長

田谷哲志

### 第192期第2四半期連結累計期間決算

連結売上高	<b>2,917</b> 億 <sup>※1</sup> 円(前年同一期間2,548億円、増減率 14.5%)
連結営業利益	<b>354</b> 億(前年同一期間 375億円、増減率△5.4%)
連結経常利益	<b>365</b> 億(前年同一期間 341億円、増減率 7.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>154</b> 億(前年同一期間 129億円、増減率 19.4%)

※1 当社は2016年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、2017年度中間期(1月1日から6月30日まで)の業績については、2016年1月1日から6月30日までの業績(未監査)として算出した参考値と比較しております。

### 通期連結業績予想

(億円)

	修正 (5月12日発表)	期初発表 (2月14日発表)	増減率
売上高	5,770	5,400	6.9%
営業利益	810	810	—
経常利益	840	840	—
当期純利益 <sup>※2</sup>	370	370	—

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

## ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社グループの第192期第2四半期連結累計期間(2017年1月1日～2017年6月30日)について、ご報告申し上げます。

売上高については、日本セグメントの売上高が増加したほか、中国事業が好調だったことや本年3月に完全子会社化した米国建築用塗料メーカーDunn-Edwards社(DE社)の連結効果もあり、前年同一期間と比較して増加しました。営業利益は原材料価格上昇の影響やDE社株式取得関連費用等の計上などにより前年同一期間と比較して減益となった一方、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。通期予想については、第1四半期連結決算発表日(本年5月12日)にDE社連結化に伴う修正を左ページ記載の通り発表しており、これからの変更はありません。

なお、当期の中間配当は2月14日公表のとおり20円/株とさせていただきます。期末配当は22円/株を予定しており、通期では過去最高となった前期(40円/株)をさらに上回り、42円/株となる見込みです。

この上半期の間にも、私が社長就任時に策定した中期経営計画(中計)においてみなさまにお示しした「将来、Global Paint Majorとなる」ための施策を着実に実行しています。DE社の連結化は、自動車用塗料を中心としていた米国事業において建築用を展開する橋頭堡の確保を実現しました。DE社には日本人幹部社員を派遣し、グループの一員として売上拡大・収益性の向上に取り組んでいます。また、この春、当社本社(大阪市)敷地内および大阪府枚方市に研究開発拠点を新設し、顧客ニーズに対応した製品開発体制をさらに強化しました。

塗料業界では、海外有力企業同士の合従連衡の動きが見られます。当社グループも世界において勝ち残るために、本年度が最終年度となる中計で掲げた目標に向かい邁進していきます。そして、その先の未来も見据え、私たちは「Global Paint Major」となるために、一丸となって、絶え間なく企業価値向上に取り組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



## ▶ 連結貸借対照表の要旨

(億円)

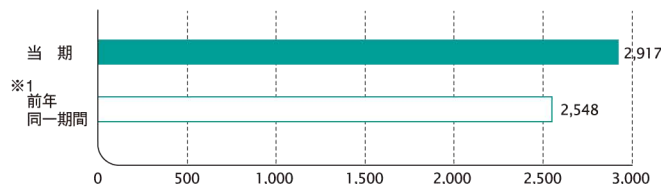
科目	前期	当期
	2016年12月31日現在	2017年6月30日現在
流動資産	4,129	3,808
固定資産	4,150	5,029
<b>資産合計</b>	<b>8,279</b>	<b>8,837</b>
流動負債	1,879	2,067
固定負債	543	941
<b>負債合計</b>	<b>2,422</b>	<b>3,008</b>
株主資本	4,969	5,059
その他の包括利益累計額	△236	△317
新株予約権	0	1
非支配株主持分	1,123	1,085
<b>純資産合計</b>	<b>5,857</b>	<b>5,828</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,279</b>	<b>8,837</b>

- ・総資産は前連結会計年度末と比較して557億円増加し、8,837億円となりました。
- ・流動資産については、前連結会計年度末と比較して321億円減少し、3,808億円となりました。これは、売上債権・棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金・有価証券が減少したことによるものです。
- ・固定資産は前連結会計年度末と比較して878億円増加し5,029億円となりましたが、その主な要因はDE社買収に伴うのれん・固定資産増加などによるものです。
- ・負債は前連結会計年度末と比較して586億円増加し、3,008億円となりました。その主な要因はDE社買収に伴う借入金増加や繰延税金負債計上などによるものです。
- ・純資産は、前連結会計年度末と比較して29億円減少し、5,828億円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加、円高の影響による為替換算調整勘定の減少などによるものです。

## ▶ 連結損益計算書の要旨

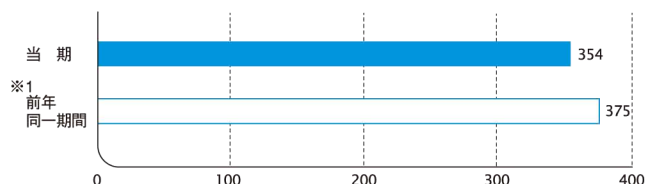
売上高 **2,917**億円

日本セグメントが増加したほか、中国事業の好調、DE社連結効果などにより、前年同一期間比14.5%増となりました。



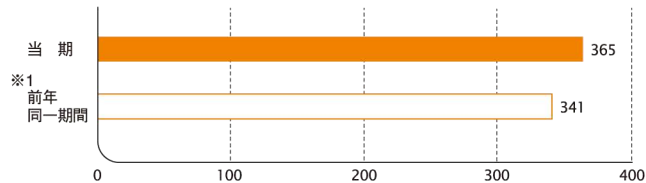
営業利益 **354**億円

原材料価格上昇・DE社株式取得関連費用計上などにより、前年同一期間比5.4%減となりました。



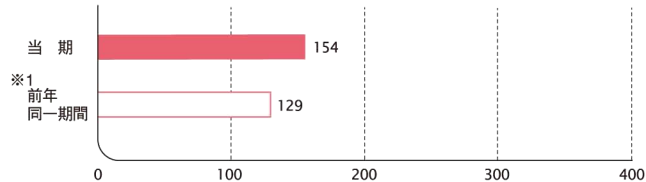
経常利益 **365**億円

前年同一期間比7.1%増となりました。



四半期純利益<sup>※2</sup> **154**億円

前年同一期間比19.4%増となりました。<sup>※2</sup> 親会社株主に帰属する四半期純利益



※1 当社は2016年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、2017年度中間期(1月1日から6月30日まで)の業績については、2016年1月1日から6月30日までの業績(未監査)として算出した参考値と比較しております。

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

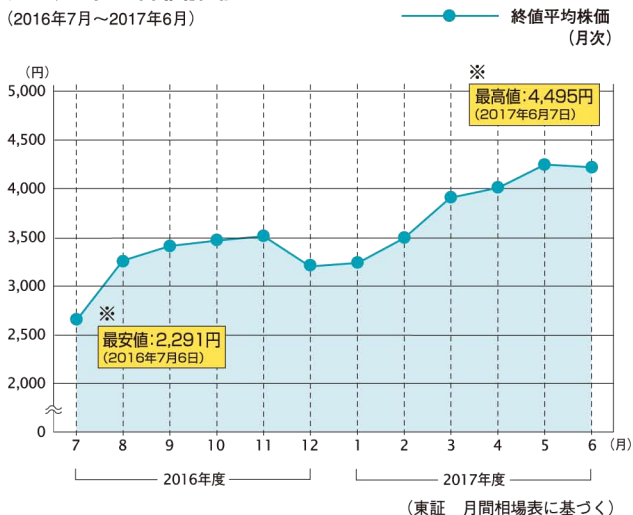
前期は、2016年4月1日～2016年9月30日、  
当期は、2017年1月1日～2017年6月30日を示します。

(億円)

科目	前期	当期
	自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	自 2017年1月 1日 至 2017年6月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	351	205
投資活動による キャッシュ・フロー	△36	△836
財務活動による キャッシュ・フロー	△65	176
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△106	△22
現金及び現金同等物の 期首残高	1,082	1,345
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,225	867

## 過去1年の株価推移

(2016年7月～2017年6月)



※2016年7月から2017年6月までの期間の最高値・最安値

## ▶ トピックス

### 女子卓球部 加藤美優選手と所属契約を締結

本年4月に設立した「日本ペイント女子卓球部」は女子世界ランキング30位(日本人選手としては8位、2017年8月現在)の加藤美優選手(18歳)と所属契約を締結しました。加藤選手は5月にドイツ・デュッセルドルフで開催された「2017世界卓球選手権ドイツ大会(個人戦)」にも出場しベスト16まで勝ち進むなど、若手のホープの一人として期待されています。

NIPPON PAINT HOLDINGS GROUP



当社社長・田堂と加藤選手

4月25日に本社において開催した所属契約記者会見には東京・大阪からテレビ・新聞等の多くのメディアが集まり、加藤選手と女子卓球部を創設した当社への高い期待がうかがわれました。

### 研究開発拠点2カ所を新設



NPAUイノベーションセンター内のショールーム

当社グループはこの春、当社本社(大阪市)敷地内に5階建ての新技术研究棟を開設しました。大阪地区にはグループの営業・物流拠点が設けられており、技術部門がこれらの部門と隣接することで、顧客ニーズをより的確に反映した研究開発体制の構築を進めていきます。また、自動車用塗料を手掛ける関連会社・日本ペイント・オートモーティブコーティングス(NPAU)も本社(大阪府枚方市)敷地内に「イノベーションセンター」を新設しました。同センターでは、国内外自動車メーカーのニーズに対応した新製品開発に取り組みます。

当社グループのE(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)の取組みのうち、主なものをご紹介します。

## E (Environment・環境)の取組み

揮発性有機化合物を使用しない水性塗料に代表される環境配慮型製品の開発推進を通して、社会的課題である環境問題の解決に貢献しています。

### 遮熱塗料を多彩な分野で展開

熱エネルギーが含まれる太陽光の赤外線を高率で反射し、塗装物の温度上昇を抑制する効果を持つ遮熱塗料を自動車用・建築用・工業用など多彩な分野で展開しています。



遮熱塗料を塗装したトヨタ・プリウス

### 生体模倣のチカラで船舶の燃費を改善

マグロの皮膚にヒントを得た生体模倣技術を応用し、摩擦抵抗のさらなる低減を実現した低燃費型船底用防汚塗料を開発しました。



当社低燃費型船底用防汚塗料を塗装したクイーンエリザベス号

## S (Social・社会)の取組み

### ダイバーシティの推進

性別・年齢・国籍などの属性にかかわらず、個人の持つ経験・能力・発想などの「知の多様化」と働きがいのある環境整備を進め、一人ひとりが100%のパフォーマンスを発揮できる会社となることを目指しています。

2017年度からは全管理職(国内)を対象に、ダイバーシティ推進の目的・必要性の理解・浸透を図り、各組織での「個」を活かすダイバーシティマネジメントの具体的実践を促進しています。また、当社グループ全社員(国内)を対象に、ダイバーシティに関する講演会も実施しています。

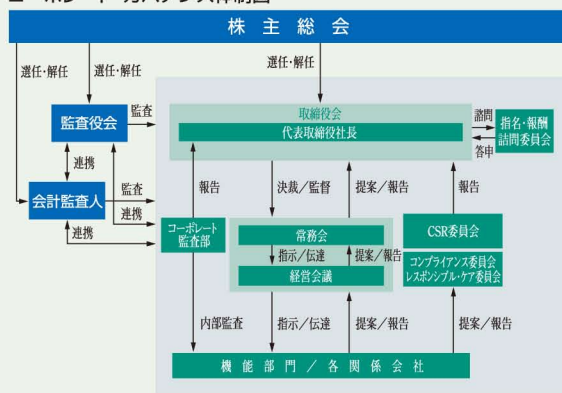


管理職を対象とした「ダイバーシティマネジメント研究会」の様子

## G (Governance・ガバナンス)の取組み

当社は、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、経営環境の変化に迅速かつ確に対応できる経営機構の構築と透明性の高い経営の実現に向け、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に継続的に取り組んでいます。

### コーポレート・ガバナンス体制図



### 主な機関

取締役会…7名で構成し、うち2名が独立社外取締役です。

指名・報酬諮問委員会…独立社外取締役を委員長とし、独立社外取締役が半数以上を占める構成となっており、取締役・監査役候補者の指名、役員報酬等の決定方針や水準について公正・透明に審議できる体制としています。

監査役会…5名で構成し、うち3名が独立社外監査役です。



当社では2016年度から「統合報告書」の発行を開始しました。「統合報告書2017」については、本年8月8日に、当社ホームページにおいて公開しております。当社グループのESGの取組みの詳細については、「統合報告書2017」をご覧ください。

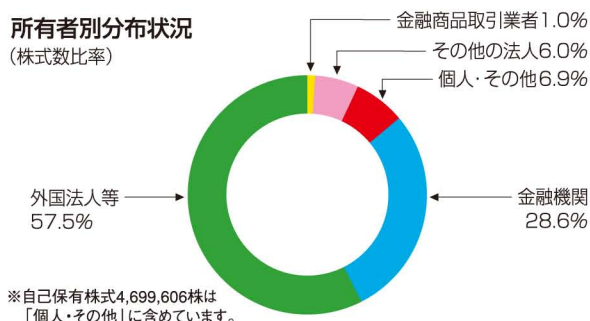


本 社 〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2  
 TEL 06-6458-1111  
 創 業 明治14年(1881年)3月14日  
 資 本 金 788億6千2百万円  
 主要な事業内容 グループ戦略立案ならびに各事業会社の統括管理

## 株式状況

発行可能株式総数 1,000,000,000株  
 発行済株式の総数 325,402,443株  
 株 主 数 8,763名

### 所有者別分布状況 (株式数比率)



## 大株主<sup>※1</sup>

株 主 名	持株数 <sup>※2</sup> (千株)	持株比率 <sup>※2</sup> (%)
NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED <sup>※3</sup>	126,906	39.57
N A T I X I S	12,357	3.85
日本生命保険相互会社	10,817	3.37
住友生命保険相互会社	10,750	3.35
株式会社三井住友銀行	9,999	3.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,133	2.22
三井住友信託銀行株式会社	7,053	2.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,277	1.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	5,109	1.59
明治安田生命保険相互会社	4,426	1.38

※1 当社は、自己株式4,699,606株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

※2 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てております。

※3 NIPSEA INTERNATIONAL LIMITEDは、当社取締役 ゴー・ハップジン氏が代表を務めるWUTHELAM HOLDINGS LTD.の100%子会社です。

## 役員 (2017年6月30日現在)

取 締 役 会 長	酒 井 健 二
代 表 取 締 役 社 長	田 堂 哲 志
代 表 取 締 役 常 務 執 行 役 員	南 学
取 締 役 上 席 執 行 役 員	永 阪 淳
取 締 役	ゴ ー ・ ハ ッ プ ジ ン
社 外 取 締 役	松 本 岳
社 外 取 締 役	三 品 和 広
常 勤 監 査 役	川 邊 統 也
常 勤 監 査 役	金 倉 顕 博
社 外 監 査 役	高 橋 司
社 外 監 査 役	生 沼 寿 彦
社 外 監 査 役	脇 田 一 郎

## 株主メモ

事 業 年 度	1月1日から12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定 時 株 主 総 会	3月中
単 元 株 式 数	100株
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町 三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告により行う。 <a href="https://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/">https://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。